

第67回社会を明るくする運動
ふれあい町民の集い開催

第67回社会を明るくする運動「ふれあい町民のつどい」兼「津別町連合PTA研修会」(主催 社明運動津別町推進委員会・津別町・津別町連合PTA/共催 オホーツク地域人権啓発ネットワーク協議会)が、7月14日、中央公民館で開催されました。佐藤多一町長による主催者あいさつに続いて、美幌地区保護司会津別分区長の福井全雅さんが内閣総理大臣メッセージを紹介。標語コンクール表彰式では、入賞された皆さんに賞状と記念品が贈られました(各部門の最優秀賞作品を11ページに掲載)。後半は、前・北海道日本ハムファイターズヘッドコーチで教育評論家の阿井英二郎さんが、「全員が活躍する組織づくり」をテーマに講演を行いました。



▼講演中の阿井さん

▲標語コンクール・小学生の部表彰式の様子

日ごろの訓練で災害に備える
平成29年消防演習を実施

平成29年の津別消防演習が、6月25日、雨天のため一部場所を変更し、津別小学校体育館等で実施されました。演習には津別消防署から17名、津別消防団から82名、美幌消防団から6名、車両8台(うち美幌消防団1台)が出動。入場行進、検閲に続いて小隊訓練が行われ、指揮者の号令の下、統制の取れた動きを披露しました。演習の合間には、RECつべつによるリコーダー演奏のアトラクションを実施。工場火災発生を想定した模擬火災訓練では、消防庁舎前の道道で大サイレンを合図に一斉放水を行い、日ごろの訓練の成果を見せていました。



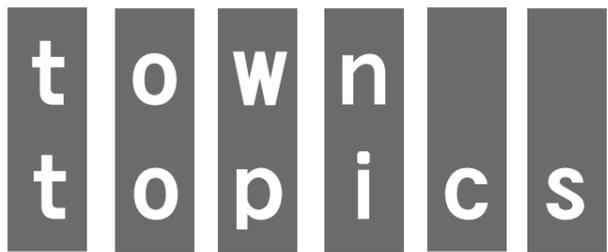
高齢者見守り及び災害時の応急物資供給
町とセブナイレブンが協定を締結

津別町と(株)セブナイレブン・ジャパンが「津別町における高齢者見守り支援及び災害時における応急生活物資供給の協力に関する協定」を結び、7月6日、津別町林業研修会館で締結式が行われました。セブナイレブンの業務において、高齢者等の異変を察知したり保護を求められた場合、速やかに町や関係機関に連絡する。また、大規模な自然災害等が発生した際には、同社の製造・流通網を活用し、食料等の応急生活物資を町に供給することを取り決めた協定です。



締結式には佐藤町長と(株)セブナイレブン・ジャパン町長と(株)セブナイレブン・ジャパン北海道地区ゾーンマネージャー・内竹善哉さん、セブナイレブン津別共和店・布瀬彰オーナーらが出席し、協定書を取り交わしました。

▶左から左へ、佐藤町長、セブナイレブンジャパン・内竹さん、セブナイレブン津別共和店・布瀬さん、同 十文字さん



まちのわだい

ジンギスカンに舌鼓
一人暮らしお年寄りの集い開催

7月13日、「二人暮らしお年寄りの集い」(主催 津別町社会福祉協議会)が、でてこいランドで開催されました。65歳以上の一人暮らしの方を対象に、食事やゲームで交流を深める催しです。



当日は30℃を超える暑さでしたが、80人あまりの参加者は食欲旺盛で、ボランティアの方たちが準備したジンギスカンや炭火焼きバーベキューなどを、おいしくいただきました。久々に顔を合わせる知人らとのお喋りも弾み、夏のひとときを楽しく過ごしました。

▶ジンギスカン鍋を囲んで歓談

福祉有償運送事業に活用を
社会福祉協議会に車両寄贈



▲レプリカキーを手渡す工藤さん(左)と社会福祉協議会・原田会長

旭町の工藤保男さん(株式会社津藤工務店代表取締役)から津別町社会福祉協議会に車いす対応軽ワゴン車(電動乗降補助機能付き)の寄贈があり、7月10日、同協議会前で寄贈式が行われました。

工藤さんが高齢のお母さんを病院等へ送迎する際に使用していたもので、今年2月に亡くなったことから、困っている人に役立ててほしいと、寄贈を思いました。この車両は、福祉有償運送事業において、要介護高齢者や障がい者の通院等に活用されます。

デジタルサイネージを設置しました!

さんさん館、津別病院、あいおい道の駅にデジタルサイネージを設置しました。



町民や観光客向けに、暮らしの情報や企業情報、観光情報など、さまざまな津別町の情報を発信していきます。

問い合わせ先

住民企画課企画グループ
☎76-2151
(内線215)

※デジタルサイネージディスプレイなどの電子的な表示機器を使って、情報を発信するシステム。

地域おこし協力隊の
「きんぎょ」

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。



奈良真紀子 札幌市出身。以前の趣味は海外旅行でしたが、現在は温泉、食巡り、キャンプを楽しんでいます。

はじめまして。5月22日に北見市より着任いたしました。任期期間は上里地区の地域活性化を目指し、「NPO法人森のこだま」での活動に努めていきたいと思っております。

今回は、初回コラムです。簡単にご紹介をします。元々は札幌で旅行会社に勤めておりました。結婚を機に北見市に移り住み、市役所の嘱託職員を経験し、その後、今年3月まで勤めていた組織では「地域活性化を目指した雇用拡大が目的」のセミナー企画・運営を担当しました。

代表の上野さんとは、講師依頼をさせていただ

いたきっかけで知り合い、活動に賛同しました。地域活性化、地域づくり、一言で言えば簡単ですが、続いていくように築いていくことが課題であり、大切なことだと認識しました。

その活動がここにあり、学びながらではありませんが、町民のひとりとして関わっていきたいと思います。また、この活動が広がり、笑顔をお届けできる商品づくりも考えております。その為には皆さんの力が不可欠だと思います。

今後ともマチの力としてご指導いただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。